郡市区等医師会 御中

大阪府医師会(公印省略)

「感染症発生動向情報(第15週)」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供 申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】

大阪府医師会·地域医療 1 課 TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年 第15週(4月10日~4月16日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 非流行期へ」

第15週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,709例であり、前週比26.0%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.92、2.21、0.80、0.24、0.22である。

感染性胃腸炎は前週比11%増の960例で、南河内7.88、三島5.41、中河内5.40、大阪市南部5.28、大阪市西部5.20であった。

RSウイルス感染症は86%増の430例で、大阪市北部4.43、北河内2.96、南河内2.75である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は27%増の156例で、大阪市南部1.89、大阪市北部1.14、中河内1.10であった。 咽頭結膜熱は15%減の47例で、南河内0.63、大阪市北部0.43、中河内0.40である。

インフルエンザは32%減の231例で、定点あたり報告数は0.78であった。南河内2.75、泉州1.03、三島0.80、豊能0.69、大阪市西部0.67である。定点あたり報告数が1.0を下回り非流行期に入った。

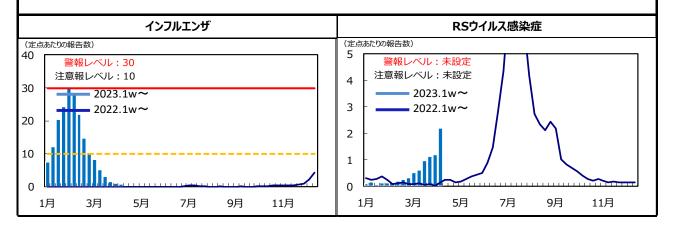


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年第15週4月10日~4月16日)

第15週 の順位	第14週 の順位	感染症	2023年 第15週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2022年 第15週の 定点あたり 報告数	2023年第15週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.92	11%増	2.43	1歳_21%
2	2	RSウイルス感染症	2.21	86%増	0.14	1歳_34%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.80	27%増	0.26	5歳_20%
4	4	咽頭結膜熱	0.24	15%減	0.10	1歳_30%
5	5	突発性発しん	0.22	増減なし	0.28	1歳_60%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.78	32%減	0.00	20歳以上_21%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

~日本紅斑熱~ 大阪府では2022年8例の報告があった。2023年は第15週で1例目が報告されている

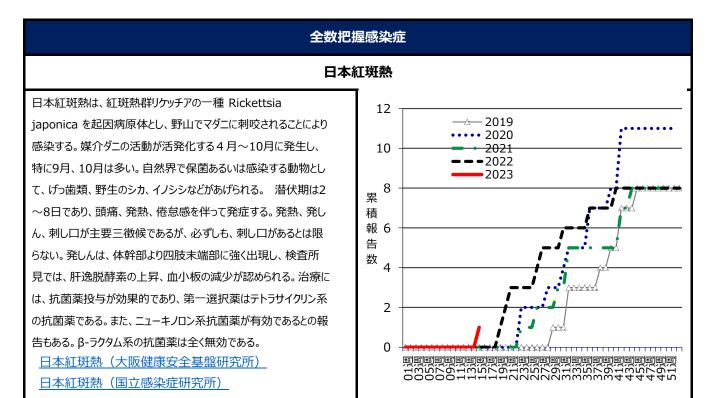


表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第15週4月10日~4月16日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
	日本紅斑熱	1							1		1
4類感染症	レジオネラ症(ポンティアック熱型)	1								1	31
	レジオネラ症(肺炎型)	1			1						31
	アメーバ赤痢	1								1	15
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4					1			3	41
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1								24
	後天性免疫不全症候群	1	1								22
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1							13
	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	32
	梅毒	28	5	1		4			3	15	515
	播種性クリプトコックス症	1								1	3
	百日咳	3					2			1	10
新型インフルエンザ等感染症	ルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 3,990 2020年1月以降累計 2,835,140								35,140		
 結核	結核 新登録患者数: 45名										
(2023年2月分)		(府内累	累積報·	告数	112名	、内	肺•喀	痰塗抹	陽性	42名)

(2023年4月18日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。

第15週 2023年4月10日~2023年4月16日 (ブロック別) (年齢別) 年齢 合 計 区分 ブロック名 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 歳 歳 ケ ケ 豊能 三島 北河内 中河内 南河内 堺市 泉州 北部 西部 東部 南部 月 歳 歳 歳 歳 か か 歳 小 児 科 未 未 定点数 満 合計 歳 疾病名 インフルエンサ 疾病名 RSウイルス感染症 咽 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 Α 小 感染性胃腸炎 感 児 科 定 水痘 水 手足口病 手 握 伝染性紅斑 伝 患 突発性発しん 突 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 把 眼 急性出血性結膜炎 握 科 疾 定 流行性角結膜炎 流 患点 合 126 205 193 214 148 | 177 | 151 79 | 172 合計 59 | 195 | 407 192 | 147 | 134 計 細菌性髄膜炎 基 幹 無菌性髄膜炎 定 点 マイコプラズマ肺炎 マ 把 握 クラミジア肺炎(オウム病を除く) ク 疾 患 感染性胃腸炎(□タウイルス) イ定 インフルエンザ

(ブロック別) 第15週 2023年4月10日~2023年4月16日

()[ツク別)															为ı	5週 20	123年4月	1011 - 2	.UZJ++/	1100
	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08 大阪市	09 大阪市	10 大阪市	11 大阪市	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位 5疾患
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	北部	西部	東部	南部									順位
	定点数 小 児 科	23	17	25	20	16	18	20	14	10	14	18	84	56	18	12	8	9	8	195	
	眼科		4	6	5	4	5	6	5	2	5	4	20	16	5	3	2	2	3	51	/
	基幹		2	2	2	1	2	1				2.5	7	4	2	1	2	0	0	16	/
疾症	5名 \ インフルエンザ	35	25	40	31	24	28	32	20	15	21	26	130	82	28	18	13	13	13	297	
	RSウイルス感染症	△ 20	▲ 22	▲ 74	▲ 41	△ 44	△ 33	△ 50	△ 62	▲ 24	△ 28	△ 32	△ 147	△ 146	△ 33	▲ 37	▲ 14	▼ 0	△ 36	△ 430	2
	咽頭結膜熱	▽ 0	▽ 4	▽ 3	△ 8	1 0	▽ 6	▽ 1	6	△ 3	▽ 1	△ 5	17	15	▽ 6	△ 5	▽ 0	▽ 0	▽ 0	47	4
/ <u> </u> \	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▽ 2	4	21	22	△ 14	16	△ 20	△ 16	△ 2	▼ 5	△ 34	△ 53	△ 57	16	▲ 18	0	△ 2	▽ 5	△ 156	3
児科	感染性胃腸炎	△ 114	92	95	108	126	77	102	64	52	35	△ 95	360	△ 246	77	63	△ 41	22	53	960	1
定点	水痘	△ 4	0	1	4 4	△ 7	▽ 0	1	0	△ 1	▽ 0	▽ 1	△ 11	▽ 2	▽ 0	△ 3	0	2	0	△ 19	
把握	手足口病	△ 2	0	△ 3	△ 2	▲ 9	▲ 3	△ 1	△ 1	0	0	▽ 0	△ 10	1	A 3	0	0	△ 2	△ 1	△ 21	
疾患	伝染性紅斑	0	0	0	0	▼ 0	▽ 0	0	0	0	0	0	▼ 0	0	▽ 0	0	0	0	0	▽ 0	
	突発性発しん	9	▽ 1	⊽ 5	A 6	▽ 3	△ 5	△ 2	▽ 2	▽ 2	△ 5	▼ 3	⊽ 6	12	△ 5	4 5	1	4	△ 4	43	5
	ヘルパンギーナ	4 5	△ 1	0	0	0	△ 8	0	▽ 0	0	△ 5	▽ 1	△ 1	△ 6	△ 8	0	0	△ 1	0	△ 20	
	流行性耳下腺炎	0	0	▼ 1	△ 2	1	▽ 0	0	▽ 0	△ 1	0	△ 1	△ 2	△ 2	▽ 0	△ 2	0	0	▽ 0	6	
把 眼握 科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疾定患点	流行性角結膜炎	⊽ 3	△ 2	△ 2	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	△ 2	0	0	▽ 0	0	▽ 2	△ 2	7	
	合 計	▲ 159	▲ 126	205	193	▲ 214	△ 148	177	▲ 151	85	79	△ 172	△ 609	△ 487	△ 148	1 33	△ 56	35	101	△ 1709	
基	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
幹定	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	▽ 0	0	0	0	0	0	▽ 0	
点把	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
握 疾	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
患	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	1	0		0			0	0	1	0	0	0	0	1	
/定	インフルエンザ	⊽ 24	△ 20	▼ 24	▼ 10	66	▼ 16	△ 33	▽ 11	10	▼ 10	▽ 7	129	▼ 38	▼ 16	▽ 7	△ 7	▽ 14	▼ 5	▼ 231	

全国感染症集計 2023年14週(04月03日~04月09日)

1~4類(全数把握)	<u> </u>
	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
	U
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
カララスペ 新型インフルエンザ(A/H1N1)	
	0
急性灰白髄炎	0
結核	175
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウ	_
イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス	
	0
属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	16
腸チフス	10
パラチフス	0
E型肝炎	5
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	1
エキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症 サル痘	0
サル痘	10
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウ	
イルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	3
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	2
デング熱	0 2 2 0
東部ウマ脳炎	n
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	
ニハブイル人窓来が 日本紅斑熱	0 2 0
日本脳炎	0
	0
ハンタウイルス肺症候群	0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病	
ハンタウイルス肺症候群	0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽	
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症	0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症	0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス	0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症	0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア	0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病	0 0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア	0 0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病	0 0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症	0 0 0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱	0 0 0 0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽	0 0 0 0 0 0 0 0 0
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 21
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽	0 0 0 0 0 0 0

5類感染症の一部(全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	9
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	12
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	1
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウ	5
マ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	5
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
後天性免疫不全症候群	10
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	8
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	22
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	5
先天性風しん症候群	0
梅毒	173
播種性クリプトコックス症	0
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	15
風しん	1
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	13580	2.77
R Sウイルス感染症	1662	0.53
咽頭結膜熱	539	0.17
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1537	0.49
感染性胃腸炎	11647	3.72
水 痘	301	0.10
手足口病	295	0.09
伝染性紅斑	30	0.01
突発性発しん	752	0.24
ヘルパンギーナ	319	0.10
流行性耳下腺炎	95	0.03
急性出血性結膜炎	4	0.01
流行性角結膜炎	191	0.28
細菌性髄膜炎	7	0.01
無菌性髄膜炎	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	10	0.02
クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2	0.00

定点数

インフルエンザ	4899
小児科	3129
眼科	693
基幹病院	476

2月(月報)

性感染症·基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2380	2.42
性器ヘルペスウイルス感染症	670	0.68
尖圭コンジローマ	526	0.54
淋菌感染症	691	0.70
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1209	2.53
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	70	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症	10	0.02
定点数	· ·	
STD	983	

基幹病院 477 注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。